

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
てん ねん き ねん ぶつ
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市哲多町蚊家

【時代】—

【指定年月日】昭和34年3月27日

【所有】個人

【見学】可

【見学時の注意】

ホタルを触ったり捕まえたりしないこと。光を発しないこと。蚊取り線香や虫除けスプレーを使わないこと。大声で話さないこと。

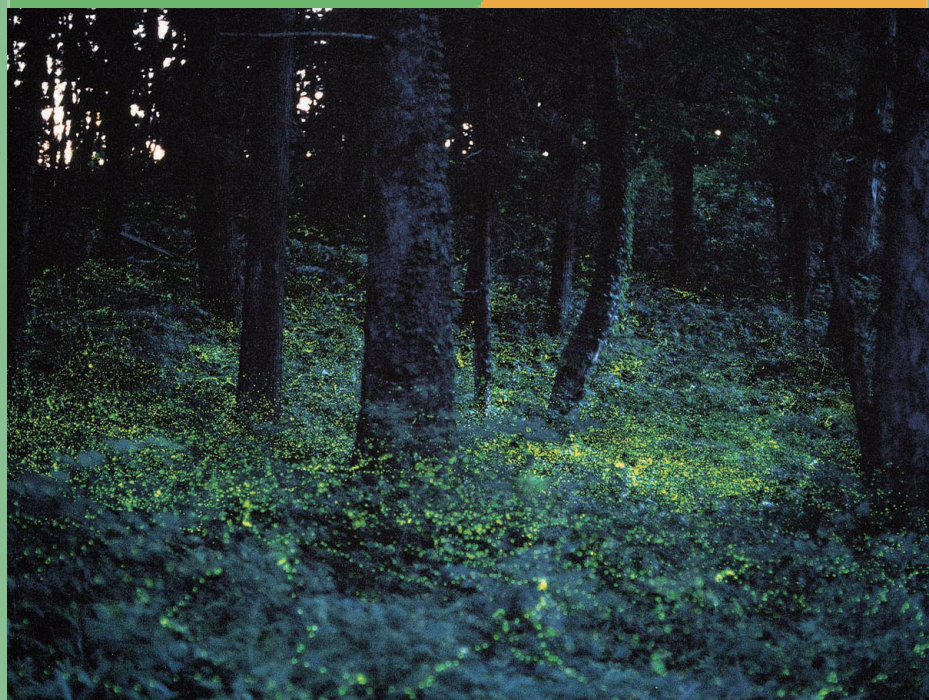


きんぼたるはっせいち

金螢発生地

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

きんぼたる

金螢（ヒメボタル）は、うっそうとした森林の中で黄金色の光を発光することによりこの名がつけられました。

体長は5～7mm、ゲンジボタルやヘイケボタルと比べて小さいです。雄は体が長く、羽が発達して飛ぶことができますが、雌は体が短く羽が退化して飛べないため、笹の茎などにとまるほか、雄に比べて弱い光を発します。

他のホタルの幼虫は、水生でカワニナや淡水のマキ貝などを餌にしますが、金螢は陸生で陸生のキセル貝等を餌として成長します。生息地域は山岳地帯の限られた場所のみです。天王八幡神社の社叢では、7月10日前後の10日間が最盛期です。